

伊江村野球場を活用した地域活性化

～子どもたちの夢が広がる～



1 社会資本の概要

伊江島は、沖縄本島北部の本部半島北西約9キロに位置する周囲22.4kmのピーナツ型をした離島です。伊江村青少年旅行村野球場は昭和48年に整備され、照明設備などが整った野球場として村内の少年野球大会や少女ソフトボール大会、草野球チームのナイター試合等、村内の子どもから大人まで利用されています。また、読売巨人軍の阿部慎之助監督が現役時代に本球場で自主トレーニングを行い、

平成29年に2千本安打の偉業を達成した際には、伊江村観光親善大使に就任いただきました。平成27年度から新たな野球場建設に向けた実施設計が行われ、設計にあたって阿部監督からも助言をいただき、令和元年5月に県内初となる全面人工芝の野球場が完成し、プロ野球選手、県内外の高校野球チームや社会人野球チーム等から注目を浴び、合宿や自主トレーニングの受け入れを行っています。



伊江村野球場



球場のこけら落としとして開催された高校野球の招待試合



第21回少年野球伊江島交流大会の開会式

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

伊江島観光協会は観光情報などを提供するほか、平成15年度から実証事業で教育旅行民泊を実施し、現在では県内を代表する民泊の先進地となっています。しかし、冬場に島内でのイベント等がなく観光客数が落ち込むことから、毎年1月に沖縄本島北部地域の少年野球チームを呼び込み、村内の少年野球チームと交流・親睦を深める「少年野球伊

江島交流大会」を開催しています。より多くの方々に大会に参加いただけるよう、村営フェリーの臨時便を運航し対応しています。大会は毎年1月上旬の3連休に開催され、村内2チームを含む全16チームが出場し、選手たちは頂点を目指し試合にのぞみ、2日間の開催で約900人の選手や保護者、応援団が来島し、島内は大きな賑わいをみせています。



第21回少年野球伊江島交流大会 優勝チーム



村営フォリーーぐすく



教育旅行民泊を終えた生徒たちを見送る民家さん

3 活動の成果や波及効果等

平成15年から開催された少年野球伊江島交流大会はこれまで21回開催し、年々回数を増すごとに大会の認知度や来島者が増え、宿泊や飲食、お土産の購入など島に大きな経済効果をもたらしています。

子どもたちにとっては、普段経験できない離島での思い出や全面人工芝の野球場での試合が同時に楽しめる大会となっています。また、村内の子どもたちにとっても、島外のチームと対戦・交流を深める機会となっています。

また、大会の開催により、伊江村野球場が多くの方に認知され、島外の軟式・硬式の野球チームが訪れるほか、中学校の軟式野球大会（阿部慎之助杯）の開催や、プロ野球選手や社会人野球の自主トレーニングが行われる際に野球教室が開かれ、憧れの選手たちと交流で村内の子どもたちの夢が広がっています。



サトウキビの収穫体験する生徒たち



自主トレーニングを行うプロ野球選手



野球教室でホームランを見つめる村内の子どもたち



中学校軟式野球大会（阿部慎之助杯）

喜びの声



受賞者

一般社団法人
伊江島観光協会
会長
宮里 徳成

コメント

冬場の観光を盛り上げようと、平成15年から少年野球交流大会を開催し、今では「冬の伊江島大会」として定着しています。

初めてフェリーに乗り、初めて伊江島を訪れ、初めての人工芝で野球を楽しむ子どもたちの姿を見ると、大会を継続して良かったと感じております。

手づくり郷土賞の受賞を励みに、さらに観光誘客に向けた活動に邁進していきたいと思っております。

活動の内容

- 伊江港内で観光案内、運営
- 少年野球伊江島交流大会
- 教育旅行民泊
- 修学旅行誘致キャンペーン
- 観光客向けプレミアム付き商品券の販売
- ビーチクリーン活動

活動の経歴

- 昭和61年 伊江村観光協会が設立
- 平成19年 一般社団法人伊江島観光協会法人認定
地域づくり総務大臣表彰
- 平成20年 グリーンツーリズム大賞（奨励賞）
- 平成24年 オーライ!ニッポン大賞
- 平成30年 第10回観光庁長官表彰

所在地

沖縄県国頭郡伊江村字川平519-3

活動主体及び連絡先

一般社団法人 伊江島観光協会
TEL:0980-49-3519
FAX:0980-49-5668
e-mail:info@ie-kankou.jp

対象となる社会資本

伊江村野球場



伊江村

伊江島

沖縄本島